

病害虫発生予察 4 月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

令和8年4月の気象表(長野地方気象台)

官 署		平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長 野	本年	11.4	15.4	13.0	41.0	8.0	25.0	42.6	90.4	57.4
	平年	8.4	10.7	12.8	18.7	19.4	18.8	66.4	65.7	67.3
松 本	本年	11.6	15.2	13.4	55.0	11.0	42.0	47.3	84.8	56.3
	平年	8.6	10.9	12.9	26.3	30.5	24.4	68.7	66.4	69.8
諏 訪	本年	10.4	14.3	12.5	84.0	10.5	42.0	46.7	86.5	53.4
	平年	8.0	10.1	12.0	30.3	35.7	26.8	69.7	66.7	68.0
軽井沢	本年	7.5	10.8	8.8	42.5	11.5	43.5	49.9	87.6	50.2
	平年	4.9	7.1	9.0	27.4	29.9	23.7	70.3	65.7	68.7
飯 田	本年	12.4	15.7	14.0	154.0	22.0	61.5	48.5	75.7	41.4
	平年	9.9	11.9	13.6	47.2	52.9	40.9	64.7	62.9	65.8

○4月の気象概況(長野地方気象台 令和8年5月1日発表)

高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日もあった。

1 麦

(1) 生育概況

令和8年産(令和7年播種)の生育概況は、農業試験場ホームページの生育調査にある「麦類の生育状況(令和8年産(令和7年播種))」を参照ください。

農業試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyoshiken/teirei/index.html>)

(2) 病害虫の発生状況

①小麦の土壌伝染性ウイルス病害(コムギ縮萎病・萎縮病)

耐病性品種への変更や大麦への転換等が行われているが、罹病性品種作付ほ場の一部で発生がみられた。

2 水 稻

(1) 病害虫の発生状況

①育苗期細菌性病害

高温の影響により一部でもみ枯細菌病の発生がみられたが、全般には平年並の発生であった。

②苗立枯病

昼夜の気温変化が激しい日が多く、一部でリゾープス菌、トリコデルマ菌、ピシウム菌による苗立枯病が発生したが、全般には平年並の発生であった。

③イネミズゾウムシ(越冬世代成虫)

アメダスの気温データを用いた有効積算温度による越冬後成虫の半数出現時期(5月19日時点)は、一般的に平年並~5日早いと推定されたが、佐久地域及び木曾地域では平年より2日遅いと推定された(第1表)。

第1表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の半数出現推定時期

*2026年1月1日を起算日とし、5月18日までは本年のアメダスの気温データの実測値、

区分	佐久	上田	諏訪	伊那	飯田	木曾 福島	松本	大町	長野	飯山
平年	5/10	5/ 6	5/16	5/ 7	5/ 4	5/13	5/ 5	5/22	5/ 8	5/14
本年	5/12	5/ 6	5/15	5/ 7	4/29	5/15	5/ 2	5/19	5/ 6	5/12
(平年差)	(+2)	(±0)	(-1)	(±0)	(-5)	(+2)	(-3)	(-3)	(-2)	(-2)

半数脱出推定時期に達していない場合は、5月15日以降を平年値で予測

*平年の推定時期は、2016年から2025年の気温データの実測値に基づく推定時期の平均

果樹生育概況

令和8年産の果樹生育概況は、果樹試験場ホームページの定例調査にある「令和8年の生態調査結果」および南信農業試験場ホームページの調査速報にある「令和8年果樹生態調査」を参照ください。

果樹試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/kajushiken/chosa/teirei/index.html>)

南信農業試験場ホームページ

(<https://www.pref.nagano.lg.jp/nannoshiken/joho/sokuho/index.html>)

3 りんご

(1) 病害虫の発生状況

①黒星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）では、無防除樹における花そう葉での発病率は1.1%（5月11日時点）であった。果樹試験場内での子のう胞子の飛散は、3月31日に確認された。

②うどんこ病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③ハマキムシ類

巡回調査では、北信地域の1ほ場で着生がみられた。

④キンモンホソガ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップでは、昨年より早く4月第1半旬から誘殺され始めた（第1表）。

第1表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
半年	0.1	0.5	0.5	1.6	2.0	1.1	1.7	1.2	0.1	0.6	5.3	19.9
前年	0	0	0	0	4	4	0	5	0	0	4	14
本年	4	0	5	7	2	3						

平年は2016年から2025年までの平均値

⑤スモモヒメシクイ

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップでは、昨年より早く4月第3半旬から誘殺され始めた（第2表）。

第2表 スモモヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
半年	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	20.0	30.9	15.5	9.7	5.7	1.6	0.8
前年	0	0	0	0	2	15	62	35	17	13	2	0
本年	0	0	1	10	14	14						

平年は2016年から2025年までの平均値

4 なし

(1) 病害虫の発生状況

①黒斑病

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）では、4月中旬以降の胞子形成度は平年と比べ高く推移している（第1表）。

捕捉胞子数は、平年よりやや多い（第2表）。

果実及び新梢葉での発病はみられなかった（第3、4表）。

第1表 越冬病斑上の胞子形成度 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	7.6	11.2	17.5	14.8	25.2	28.4
前年	0.0	5.6	0.0	0.0	7.1	0.0
本年	0.0	23.1	25.0	21.4	31.3	

平年は2016年から2025年までの平均値

値100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態

第2表 アルタナリア属菌の捕捉胞子数 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平年	1.2	3.5	6.6	6.8	19.8	27.3
前年	0	6	5	3	16	20
本年	2	7	2	16		

平年は2016年から2025年までの平均値。18mm×18mm当たりの胞子数（個）

第3表 果実の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.0	1.6	5.8	13.1	28.6
前年	0.0	0.0	2.6	12.0	35.3	54.5
本年	0.0	0.0				

平年は2016年から2025年までの平均値（単位%）

第4表 新梢葉の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹）高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.2	3.4	7.5	13.1	25.2
前年	0.0	0.0	5.1	7.4	19.1	27.5
本年	0.0	0.0				

平年は2016年から2025年までの平均値（単位％）

②黒星病

巡回調査では、果実や葉への発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）では、子のう胞子の飛散は4月上旬からみられた（第5表）。

殺菌剤無散布樹（幸水）の果実の発病は、4月下旬からみられ、平年よりも低く推移している（第6表）。

果そう葉の発病は、5月中旬からみられた（第7表）。

第5表 ナシ黒星病 子のう胞子飛散消長 高森町（南信農業試験場）

区分	4月						5月		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
平年	3	75	216	730	3,291	1,436	3,352	3,052	1,082
前年	0	0	6	5	34	9	24	4	89
本年	3	0	22	34	34	5	7	20	12

平年は2016年から2025年までの平均値

罹病葉から飛散する子のう胞子数

第6表 果実の発病（％） 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月		
	25日	5日	15日	25日
平年	0.7	4.6	16.8	18.7
前年	0.0	0.1	0.0	0.0
本年	0.3	2.7	4.1	

平年は2016年から2025年までの平均値

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査

第7表 果そう葉の発病（％） 高森町（南信農業試験場）

区分	4月	5月		
	25日	5日	15日	25日
平年	0.0	0.4	3.7	15.7
前年	0.0	0.0	0.0	0.5
本年	0.0	0.0	0.8	

平年は2016年から2025年までの平均値

「幸水」殺菌剤無散布樹で調査

③赤星病

巡回調査では、わずかに発生がみられた。

④ハマキムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑤ナシヒメシンクイ

越冬世代成虫は、高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップで3月第6半旬から5.5頭の誘殺があり、4月第4半旬が誘殺ピークだった（第8表）。

第8表 ナシヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	1.2	3.9	4.5	6.9	5.3	1.8	3.1	1.2	1	0.5	0.3	0.2
前年	0	8	6.5	33.5	12.5	4.5	6.5	1.5	0.5	1	0	0
本年	6.5	9	9	15.5	9	7	9	15	2			

平年は2016年～2025年までの平均値

5 もも

(1) 病害虫の発生状況

①灰星病

巡回調査では、発病はみられなかった。

②せん孔細菌病

巡回調査では、発病はみられなかった。

③モモハモグリガ

巡回調査では、幼虫の寄生葉はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ誘殺数は、4月第3半旬に今年度初の誘殺があった（表1）。

第1表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

月	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
半旬												
平年	2.7	4.0	5.6	3.8	8.2	3.9	2.4	0.6	0.7	1.7	3.6	13.4
前年	0	0	0	3	2	0	0	1	0	0	1	2
本年	0	0	1	0	0	0						

平年は2016年～2025年までの平均値

④ナシヒメシンクイ

巡回調査では、芯折れの被害はみられなかった。

6 **うめ**

病害虫の発生状況

かいよう病

巡回調査では、かいよう病の発病はみられなかった。

7 **野菜**

(1) 病害虫の発生状況

①施設野菜（トマト・きゅうり）の病害

巡回調査では、南箕輪村のトマト（施設・半促成栽培）で灰色かび病の発生がみられた。また、松本市のきゅうり（施設・半促成栽培）でうどんこ病の発生がみられた。

②アスパラガスの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

③たまねぎの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

④アザミウマ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）の青色粘着トラップによる調査では、4月は第5半旬に初誘殺が確認された（第1表）。

第1表 青色粘着トラップによるアザミウマ類誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市洗馬 （地区発生予察ほ）	レタス	平年	0.0	0.1	0.3	0.3	0.3	0.9
		本年	0	0	0	0	1	0

平年は2017年から2025年までの平均値

⑥アブラムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

黄色粘着トラップによる調査では、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）は4月第3半旬から、塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）は4月第2半旬から、小諸市山浦（県発生予察ほ）は4月第2半旬から誘殺され、誘殺時期は平年並～やや早く、誘殺頭数は概ね平年並であった（第2表）。

第2表 黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫飛来消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 （県発生予察ほ）	キャベツ・はくさい	平年	0.0	0.3	0.5	0.4	0.5	0.5
		本年	0	0	2	0	1	0
小諸市山浦 （県発生予察ほ）	レタス	平年	0.8	0.7	1.9	2.3	1.8	4.2
		本年	0	3	0	1	2	3
塩尻市洗馬 （地区発生予察ほ）	レタス	平年	0.1	0.1	0.0	1.4	1.1	2.9
		本年	0	1	3	0	0	2

平年は小諸市山浦及び塩尻市洗馬は2017年から2025年までの平均値、塩尻市宗賀は2018年から2025年までの平均値

⑦コナジラミ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑧ハダニ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑨ナモグリバエ（レタス）

巡回調査では、寄生はみられなかった。

小諸市山浦（県発生予察ほ）の黄色粘着トラップによる調査では、ナモグリバエの初誘殺は4月第2半旬で、誘殺頭数はやや多く、発生は平年よりもやや早かった（第3表）。

第3表 黄色粘着トラップによるナモグリバエ誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
小諸市山浦 （県発生予察ほ）	レタス	平年	0.8	1.4	5.1	4.4	6.1	6.4
		本年	0	4	6	6	7	5

平年は2018年から2025年までの平均値

⑩コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、寄生はみられなかった。

フェロモントラップによる調査では、小諸市山浦（県発生予察ほ）、朝日村古見（地区発生予察ほ）で平年よりも誘殺頭数が多かった（第4表）。

第4表 フェロモントラップによるコナガ誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 （県発生予察ほ）	キャベツ・ はくさい	平年	2.2	2.2	1.7	3.2	5.2	7.3
		本年	0	0	2	1	0	1
小諸市山浦 （県発生予察ほ）	レタス	平年	2.9	2.3	3.2	7.9	8.8	7.9
		本年	13	12	17	14	7	12
朝日村古見 （地区発生予察ほ）	キャベツ・ はくさい	平年	0.5	1.1	2.5	6.0	6.6	6.8
		本年	0	4	12	31	10	15

平年は塩尻市宗賀及び小諸市山浦は2016年から2025年までの平均値、朝日村古見2019年から2025年までの平均値

⑪オオタバコガ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

フェロモントラップによる調査では、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）は4月第5半旬、小諸市山浦（県発生予察ほ）は4月第1半旬、須坂市小河原（農業試験場）は4月第5半旬に初誘殺され、特に小諸市山浦（県発生予察ほ）では、平年よりも誘殺時期が早く、誘殺頭数も多かった（第5表）。

第5表 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	4月					
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
塩尻市宗賀 （県発生予察ほ）	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.4
		本年	0	0	0	0	2	0
小諸市山浦 （県発生予察ほ）	レタス	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0
		本年	1	1	5	7	1	2
須坂市小河原 （農業試験場）	さつまいも ・水稻	平年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
		本年	0	0	0	0	1	1

平年は2016年から2025年までの平均値